



毎日スプーン1杯のはちみつ習慣を

はちみつ通信

発行所 株式会社 雅蜂園 〒590-0906 大阪府堺市堺区三宝町2-131-1

令和7年
11月号
vol.73



兵庫県産
ヘアリーベッチ蜂蜜

今月の オススメ!

淡白でクセのない味わいです。後口まで甘みが続き、食べ応えがあります。マメ科の植物でヨーロッパやアジアに自生し、日本では緑肥や家畜の飼料として栽培されることが多い植物です。長い期間花が咲くので、ミツバチにはとてもいい蜜源です。



ヘルシー!
LET'S TRY! やってみよう!

菊芋のきんぴら

POINT

炒めるとシャキシャキに♪



旬の食材で
美味しく健康に♪

●材料【2人分】

- ・菊芋…200g
 - ・にんじん…4cm (50g)
 - ・ごま油…小さじ2
 - ・唐辛子(輪切り)…適量
 - ・白いりごま…小さじ1
- ☆調味料
- ・酒…大さじ1
 - ・はちみつ…小さじ2
 - ・しょうゆ…小さじ2

●つくりかた

1. 菊芋は皮をむき、千切りにして、水にさらし、水気を切る。にんじんも千切りにする。
2. フライパンにごま油を入れて熱し、菊芋、にんじん、唐辛子を入れて、しんなりとするまで中火で炒める。
3. ☆調味料を加えて水気が少なくなるまで炒め、白いりごまを加えて混ぜる。

※1才未満の乳児には与えないでください。



キクイモはイヌリンという水溶性食物繊維を豊富に含み、血糖値の上昇を抑える効果が期待できる健康野菜です。

はちみつ屋掲示板

はちみつ屋の
2026 福袋

8,000円相当が
4,980円 (税込)

※ポイントカード対象外です。

ご予約受付中!!
12月20日(土)まで

お渡しは12/21(日)～
ネットでもご予約受付中です♪

期間限定
雅蜂園のお歳暮ギフト

冬の大切な贈り物に

早期割引 11月22日(土)まで

対象商品 持ち帰り **10%OFF!!** 表示価格から 発送 **送料無料!** ※北海道・沖縄除く

量り売りや、イベントの告知等はLINEで配信中!!
お友だち登録
よろしくお願いします。

LINE

QRコード

バックナンバー

〒590-0906 大阪府堺市堺区三宝町2-131-1

072-233-1138

●営業時間 10:00～18:00
●定休日 月曜日、第2・4・5日曜日

2023.10より変更

オンラインショップ facebook LINE Instagram

イオンモール 南海本線 七道駅 改札出ですぐ!

はちみつ屋 社長手記

蜂労記

ほうろうき

私は九州から北海道まで、毎年現地へ行きお天気やまわりの花やミツバチを見ながら移動養蜂家や定置養蜂家と共に蜂蜜を厳選し仕入れています。豊作の時や不作の時もあり、1年間に色々楽しいお話があります。さて、今回のお話は…

過去の蜂労記はHPにてご覧いただけます!



第70回 草薺やすともうさぎとかめ

このはちみつ通信の第1号の2019年の10月号で「養蜂家紹介」コーナーがありました。それは鹿児島県の西垂水養蜂園さんです。その方が先日読売テレビの「草薺やすともうさぎとかめ」で”【移動養蜂家の7か月に密着】蜂1匹の一生で採れるはちみつは”たったスプーン1杯”…鹿児島から北海道まで花の開花に合わせて家族で北上しながらはちみつを採る移動養蜂家の7か月。知られざるはちみつの世界。”とドキュメントとして取り上げられました。

その時のはちみつ通信では、“鹿児島県、南九州市知覧町に親子三代で養蜂業を営む西垂水養蜂園さん毎年九州知覧の街を中心に薩摩川内市や出水市でれんげやみかんの蜜。長崎に移動してみかん、山ハゼ、栗などを採った後、秋田県へあかしの蜜を採る部隊と北海道でキハダやアザミを採る部隊に別れます。子供が小さい間は北海道の小学校に通ったりしながら移動養蜂家としていつもたくさんのお蜜を分けていただいています。初めて出会った頃は中学生・小学生だった子供が現在立派に養蜂家として活躍している姿を愛おしく見つめています。”



2005年



2006年

そんなことを書いていました。私との出会いは20年前の彼が33歳の頃でした。蜂蜜とミツバチについては彼に一番教えてもらったかもしれません。一緒に長崎へ行き、一緒に秋田へ行き、一緒に北海道へ行きました。そんな養蜂家の7ヶ月をよくぞ追いつけてくれたものと感心しています。そして彼の人が十二分に発揮されている番組にただただ感動と感謝で涙が出てきました。

テレビを見た友達から、「すごく良かったけど大変な仕事やね!あんな人たちについて回って凄いな!」って言われましたけど、私は蜜を採る時に行くだけなので養蜂家さんの苦労は計り知れないです。もし何かの機会に見れば是非ご覧ください。

やっぱり養蜂家っていいなあ。



養蜂家さん! さんぽは!

毎年九州知覧の街を中心に薩摩川内市や出水市でれんげやみかんの蜜、長崎に移動してみかん、山ハゼ、栗などを採った後、秋田県へあかしの蜜を採る部隊と北海道でキハダやアザミを採る部隊に別れます。

はちみつ通信第1号
第1回の養蜂家さんは…
鹿児島県 南九州市知覧町にて親子三代で養蜂業を営む
西垂水養蜂園さん



2014年



初代 西垂水 正さんと